平成20年度　全国学力･学習状況調査
（第二次報告）

前回の一次報告に続き、今回は、「生活習慣や学習意欲の質問紙調査の分析や課題」、「課題に対する改善策」等について第二次報告として公表いたします。

質問紙調査は、小学校6年生と中学校3年生の児童生徒の学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容について、それぞれの学年に総計７５の質問が出されました。この中から、「基本的生活習慣」「読書」「家庭学習」「自尊感情・規範意識」「学校生活」の５つの項目について、本市の小学生・中学生の調査結果に、考察を加えてまとめました。

また、改善策については、教育委員会と各学校が連携しながら現在取り組んでいること、今回の結果から見えてきた課題を踏まえて、学力向上に関する方策だけではなく『生きる力』＝【知・徳・体】のバランスのとれた、人間性豊かな思いやりをもつ児童生徒の育成を目標に取り組んでまいりたいと考えています。
家庭（保護者）や、地域の皆さまには、今後も学校の教育諸活動をご協力・ご支援をいただきますようお願いします。

高石市教育委員会

①　児童生徒に対する質問紙調査について

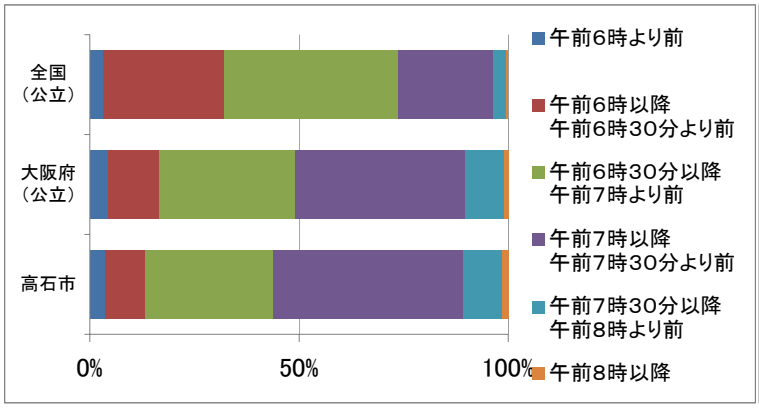
質問紙調査からわかる５つの傾向のグラフと考察

傾向Ⅰ：就寝時刻が遅く、余裕をもって朝、起きていないため朝食をとっていない子どもが多くみられる。

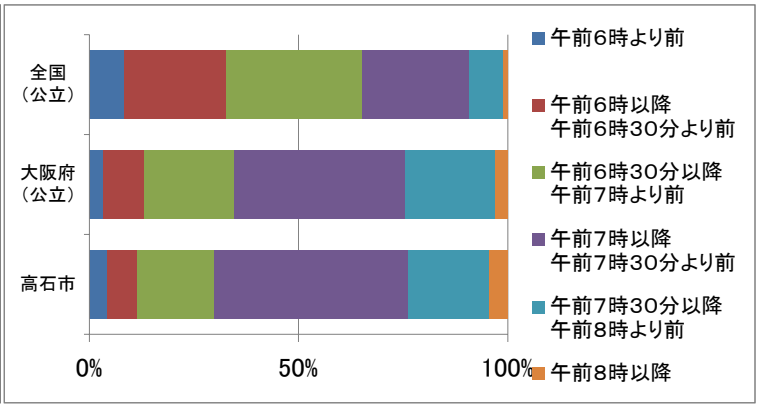
〔グラフ・1，2〕より、小・中ともに就寝時刻が遅く、起床時刻が遅い傾向がみられます。また、〔グラフ・3〕より、学校に持っていくもの等の準備を余裕をもってすることを意識する子どもが少ないことがわかります。また、〔グラフ・4〕より、朝食をとらずに登校している子どもの割合も高い傾向がみられます。
このことから、余裕をもって起床し、朝食をとって登校するためには家庭との連携と協力が必要です。

〔グラフ・1〕普段（月～金曜日）、何時ごろ起きますか。

【　小　学　校　】

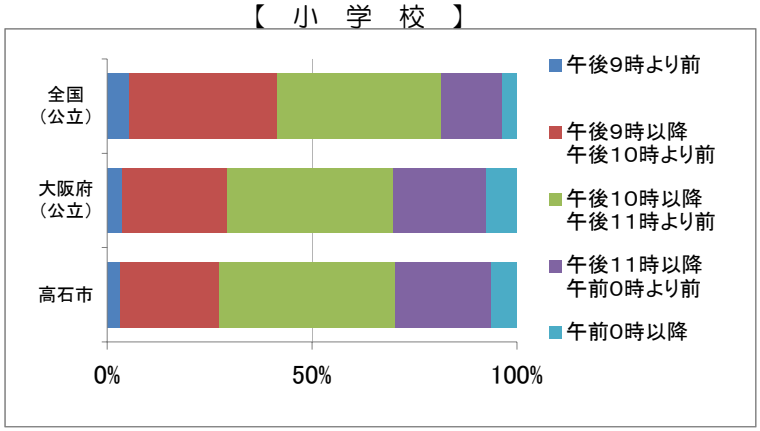


【　中　学　校　】

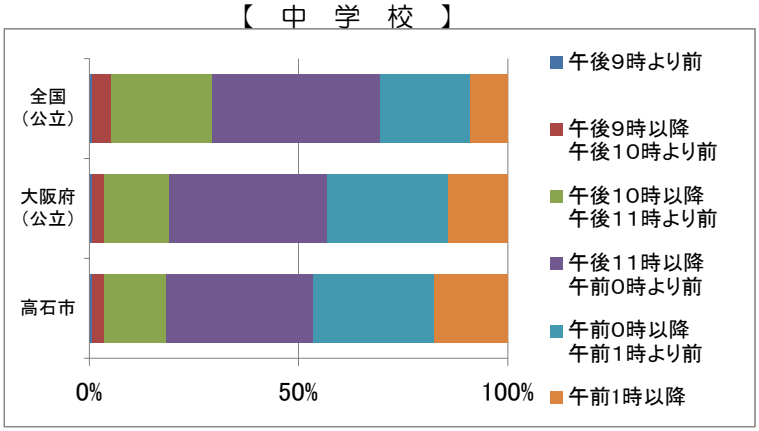


〔グラフ・2〕普段（月～金曜日）、何時ごろ寝ますか。

【　小　学　校　】

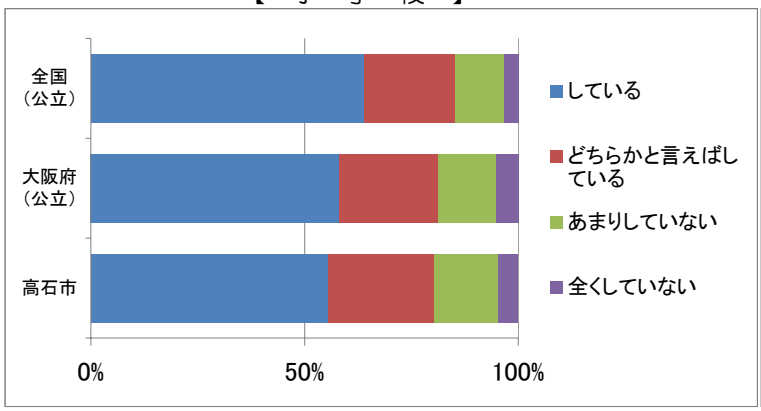


【　中　学　校　】

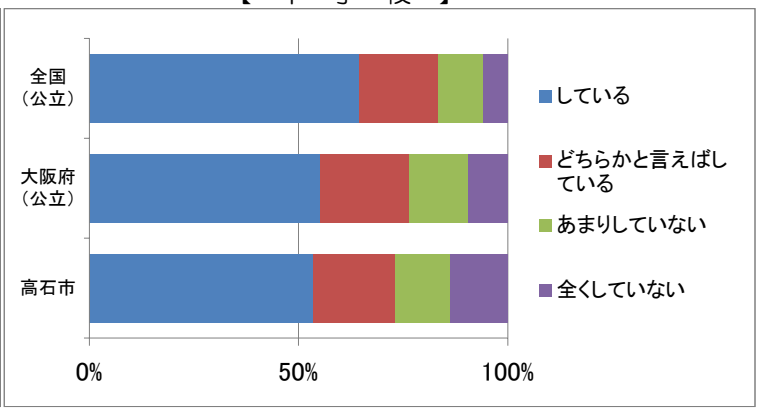


〔グラフ・3〕学校に持っていくものを、前日かその日の朝に確かめていますか。

【　小　学　校　】

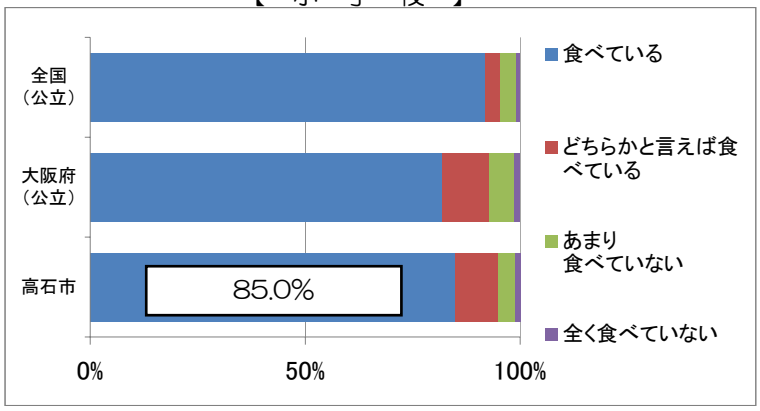


【　中　学　校　】

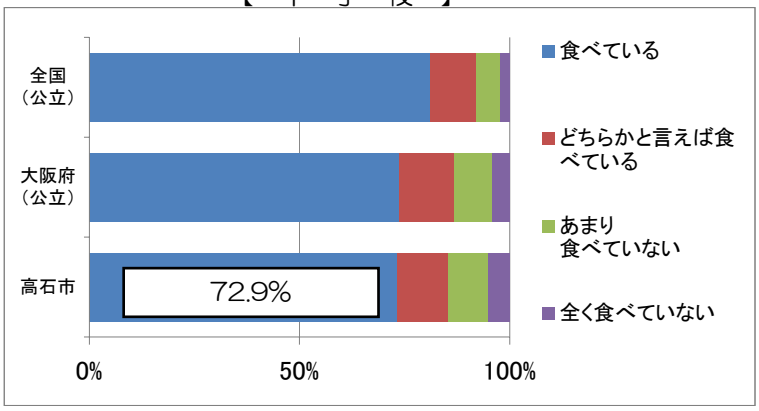


〔グラフ・4〕朝食を毎日食べていますか。

【 小 学 校 】



【 中 学 校 】

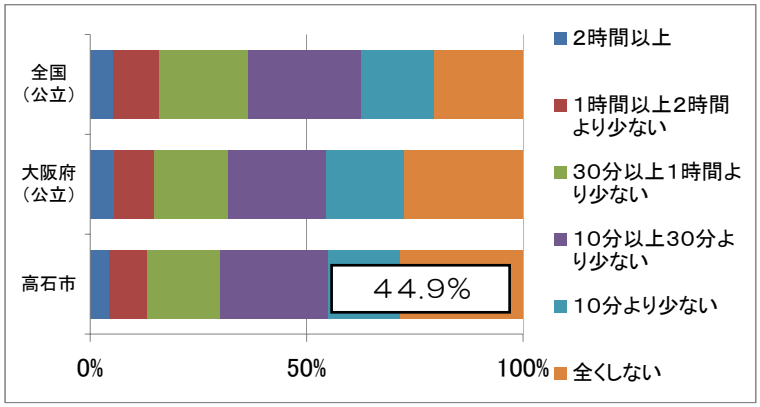


傾向Ⅱ：読書ずきの子どもが全国・大阪府よりも少なく、読書量に乏しい子ども多くみられる。

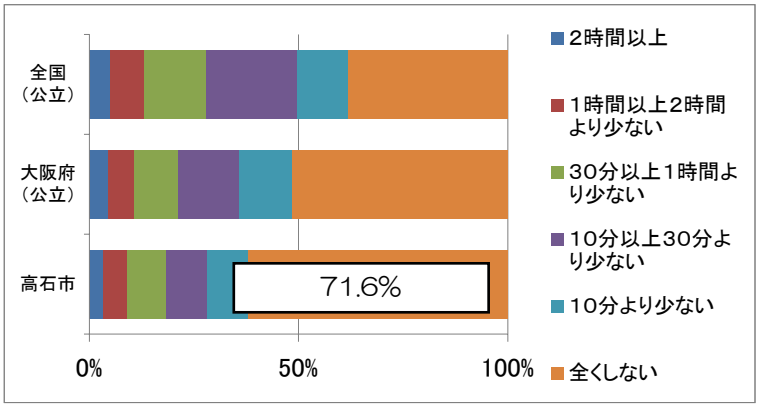
〔グラフ・5〕より、１日当たりの読書時間が、「１０分より少ない，全く読まない」子どもが小学校では半数近く、中学校では7割を占めています。また〔グラフ・6〕より、読書が「好きな子ども」が、全国・大阪府より下回り、「好きではない子ども」が大阪府に比べると少ないものの、全国よりは多く見られます。中学校になると「好きな子ども」が、小学校よりもさらに下回り、反対に「好きではない子ども」が全国・大阪府をかなり上回ります。このことから小学生よりも中学生で読書離れの傾向が強くなっており、少し長い文章をじっくり読むことができないことにつながっていると考えられます。
学校や家庭において読書をする機会を一層増やしていく必要があります。

〔グラフ・5〕家や図書館で、普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間読書をしますか。

【 小 学 校 】

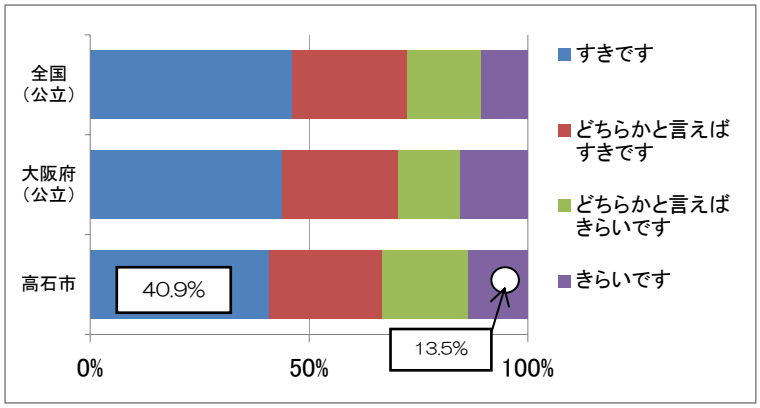


【 中 学 校 】

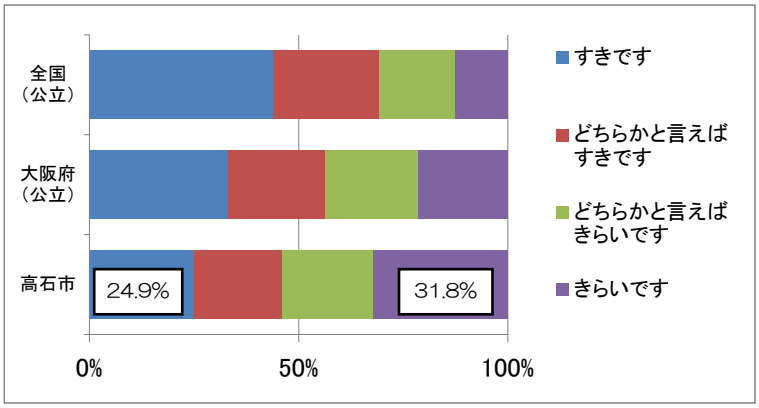


〔グラフ・6〕読書はすきですか。

【 小 学 校 】



【 中 学 校 】



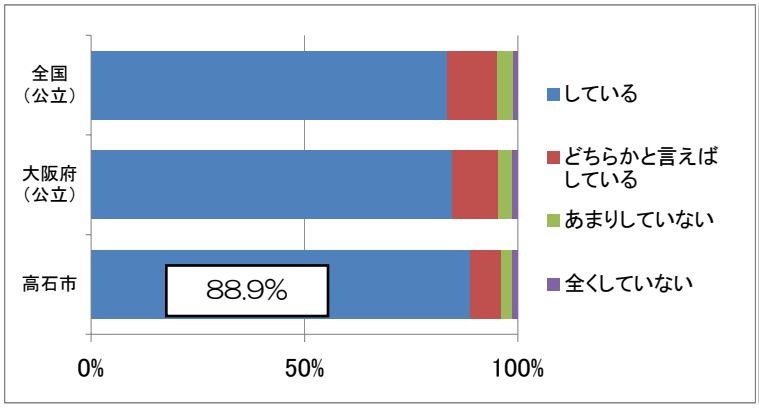
傾向Ⅲ－①：宿題をきっちりやっている子どもは多い反面、予習・復習ができない子どもが多く見られる。

〔グラフ・７〕より、小・中学校ともに学校で出された宿題をやっている子どもは多く見られます。特に小学校では、８８．９％の子どもが「やっている」と回答しています。中学校になると「やっている」と回答している子どもの割合は下がりますが、「やっている」「どちらかと言えばやっている」の回答を合わせると７２．５％の子どもが宿題をやっていることがわかります。しかし、〔グラフ・８，９〕より、家で予習や復習をしていますかという質問に対して、「やっている」と回答している子どもが小・中学校ともに全国に比べると少なく、「全くしていない」と回答する子どもが多いことがわかります。

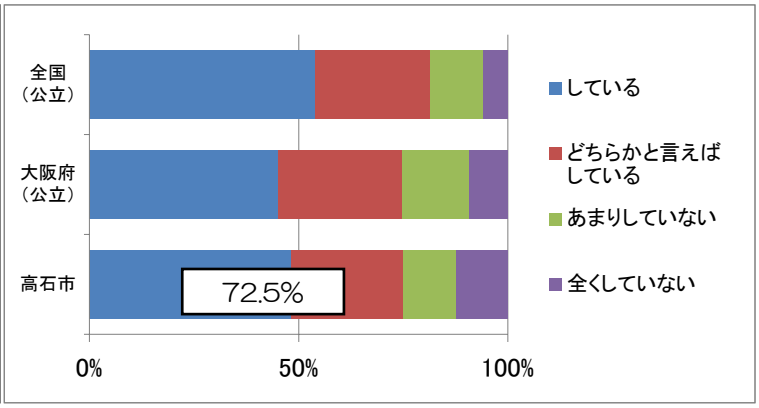
このことから、家庭での学習が宿題だけにとどまり、予習や復習等を行う、自学自習力の態度や習慣を身につけることが今後の課題です。

〔グラフ・７〕家で学校の宿題をしていますか。

【　小　学　校　】

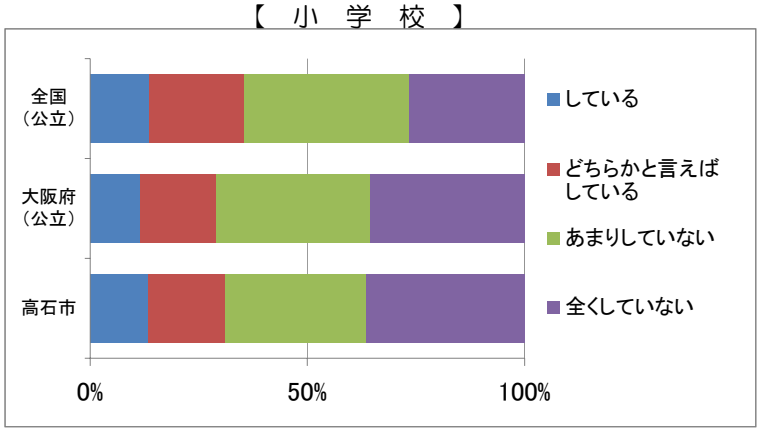


【　中　学　校　】

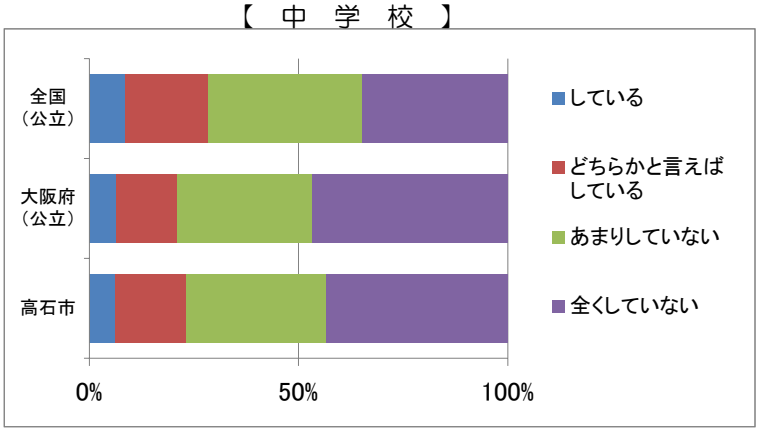


〔グラフ・８〕家で学校の予習をしていますか。

【　小　学　校　】

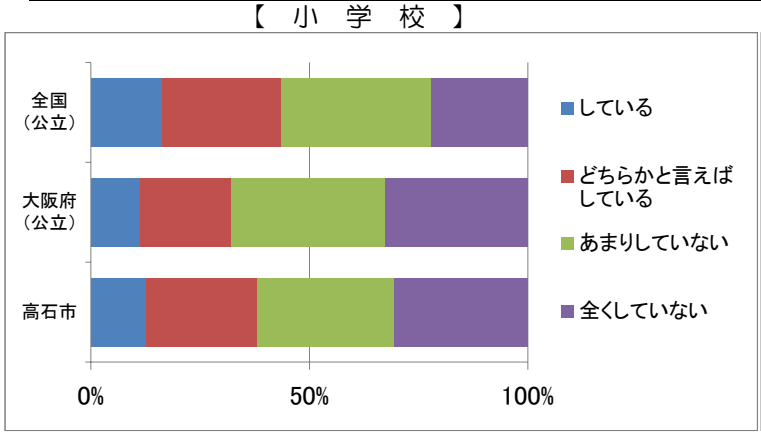


【　中　学　校　】

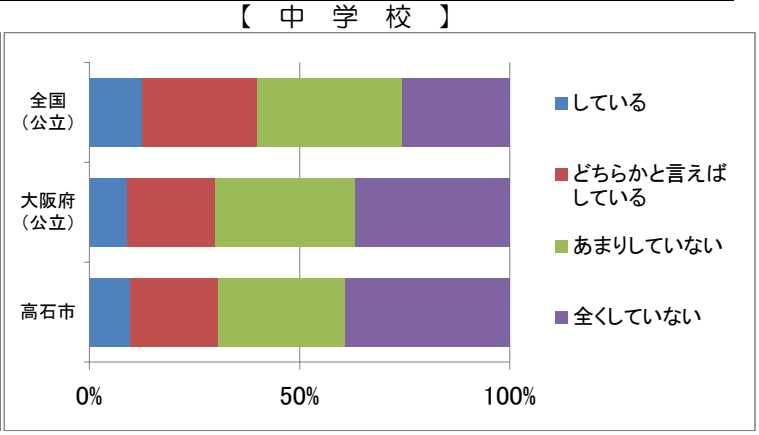


〔グラフ・９〕家で学校の復習をしていますか。

【　小　学　校　】



【　中　学　校　】

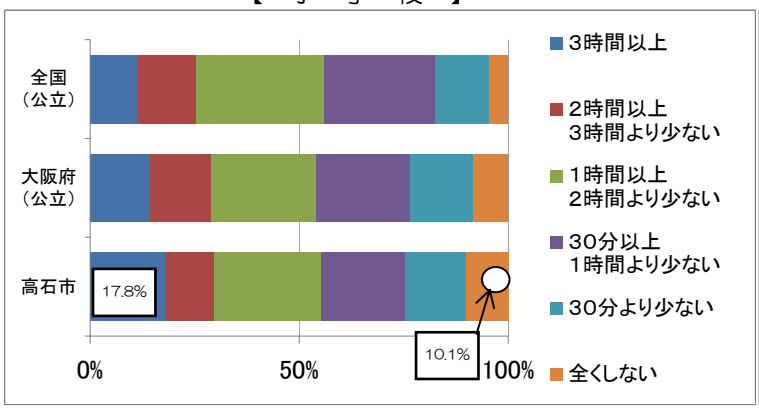


傾向Ⅲ－②：家庭学習を行っている子どもと行っていない子どもとの差が大きく二極化の傾向がある。

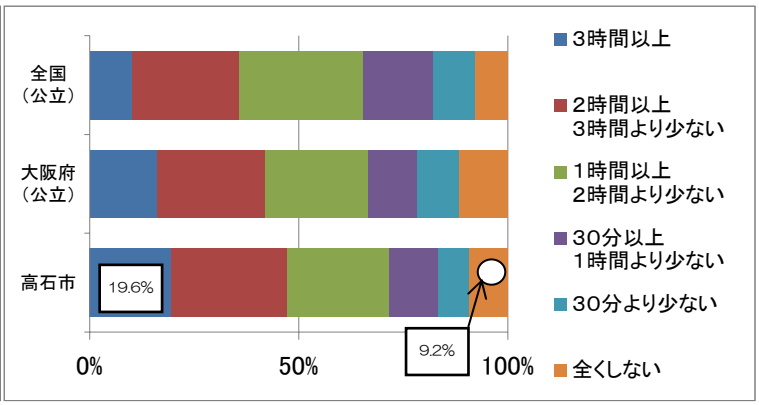
〔グラフ・10，11〕より、1日当たりの勉強する時間を「3時間以上している」と回答している子どもが、小・中学校ともに全国・大阪府を上回っています。その反面、「全くしていない」と回答した子どもが小学校では全国・大阪府よりも多く、中学校でも大阪府よりやや少ないものの、全国より多くなっています。
　このことから、毎日勉強している子どもと、していない子どもとに大きく分かれており、また1時間程度の勉強をしている子どもが、全国・大阪府よりも少ないことや、〔グラフ・12〕より、計画を立てて勉強している子どもが少ないことから見ても、毎日の学習習慣を身につける必要があります。

〔グラフ・10〕学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。

【　小　学　校　】

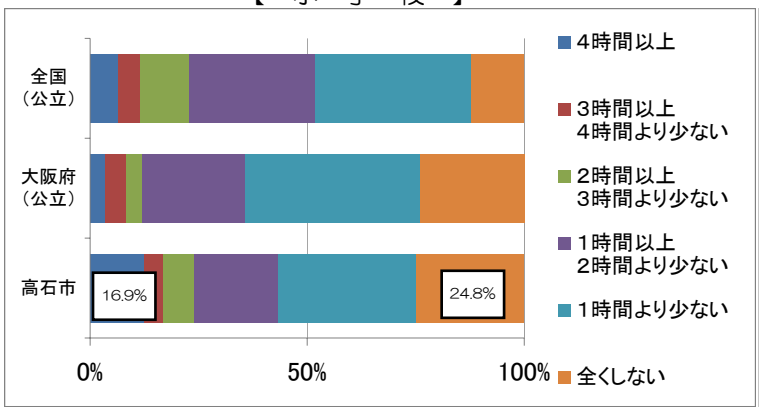


【　中　学　校　】

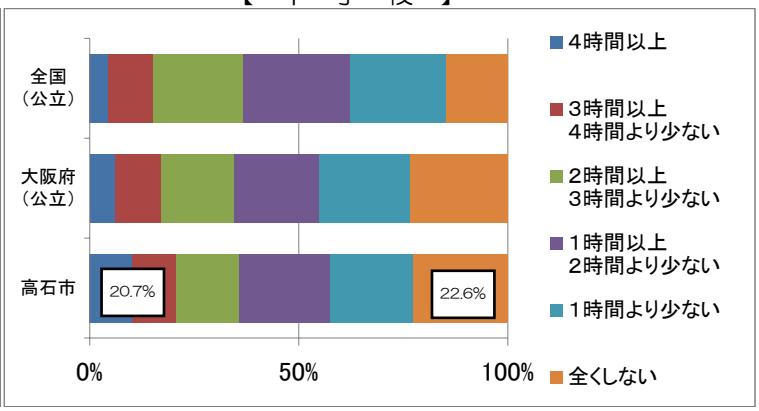


〔グラフ・11〕土曜日や日曜日などの学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。

【　小　学　校　】

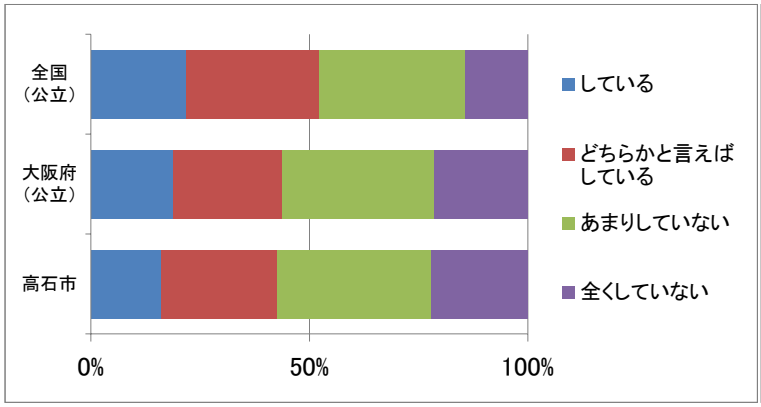


【　中　学　校　】

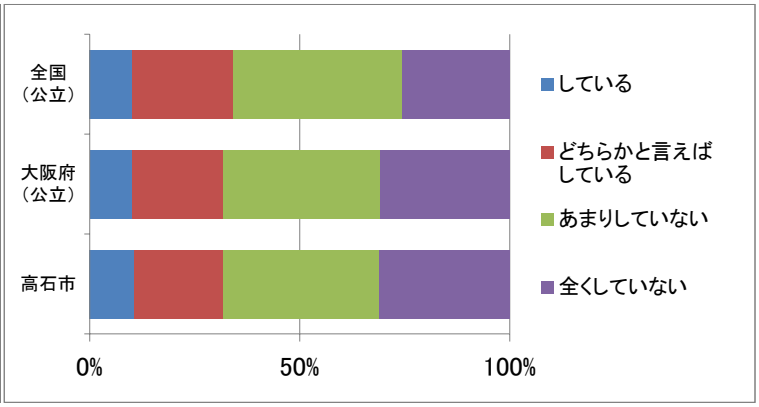


〔グラフ・12〕家で自分で計画を立てて勉強していますか。

【　小　学　校　】



【　中　学　校　】



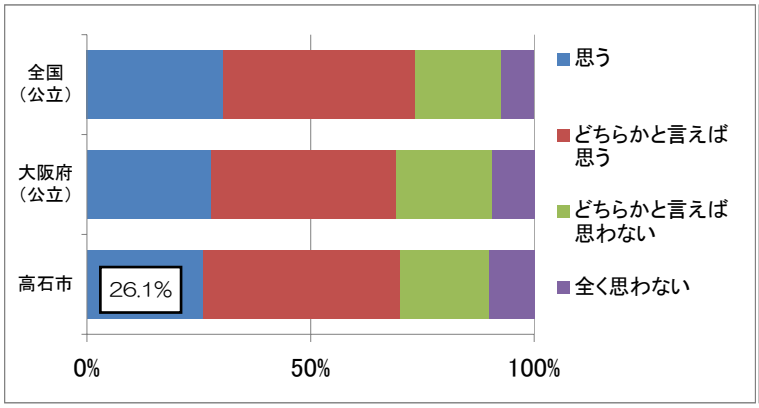
傾向Ⅳ－①：自分のよさの自覚や、友人を大切にし、人の気持ちをわかる人間になりたいという意識が強い。

〔グラフ・13〕より、「自分には、よいところがある」と思う子どもが、小学校では、２６．１％と全国・大阪府より下回っていますが、中学校では、１９．８％と全国・大阪府よりも上回っています。しかし、学年が上がるにつれて、学習の困難さや進路への不安、社会に対する疑問等、友達との関わりや人との違いなどへの悩みが大きくなり、自尊感情がやや低下する傾向が見られます。このような中、〔グラフ・14，15〕より、「友達との約束を守る」ことや、「人の気持ちが分かる人間になりたい」と思う子どもが、小学生よりも中学生で大阪府を上回る傾向が出ています。

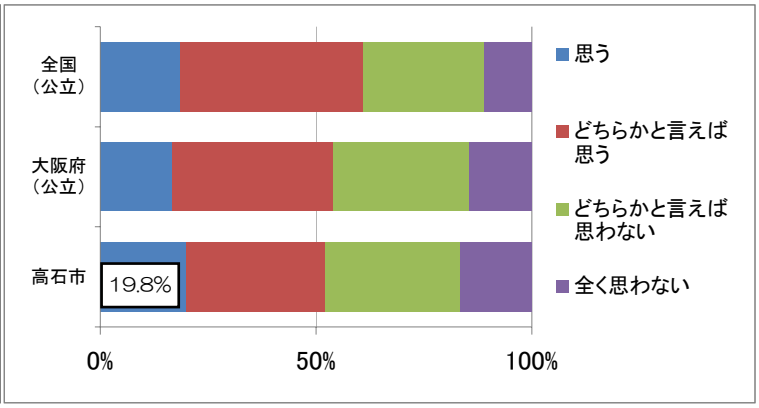
今後も具体的な目標を持たせ、他人との関わりをもちながら、自分の力で最後までやりぬくことで達成感を味わう体験が、より一層大切になってきます。

〔グラフ・13〕自分には、よいところがあると思いますか。

【　小　学　校　】

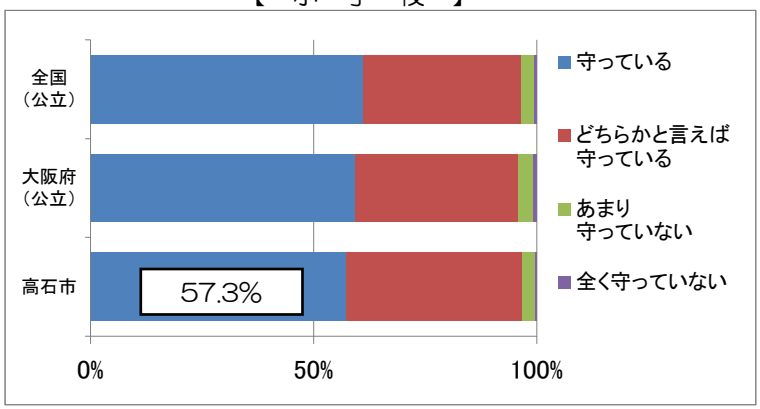


【　中　学　校　】

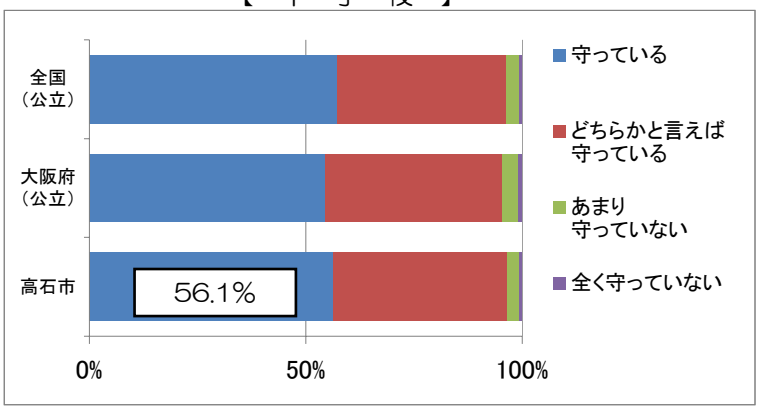


〔グラフ・14〕友達との約束を守っていますか。

【　小　学　校　】

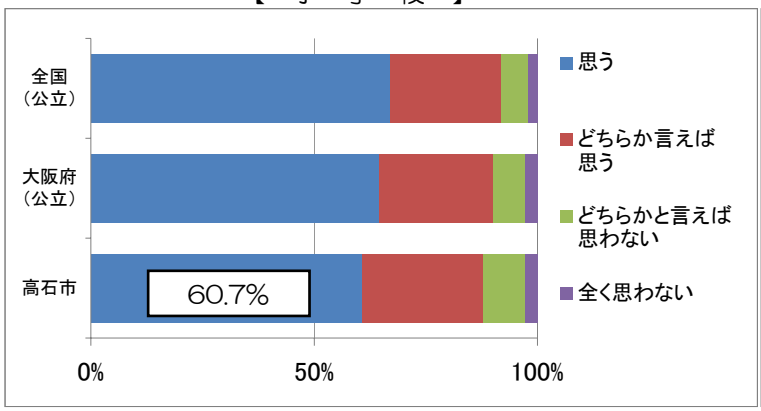


【　中　学　校　】

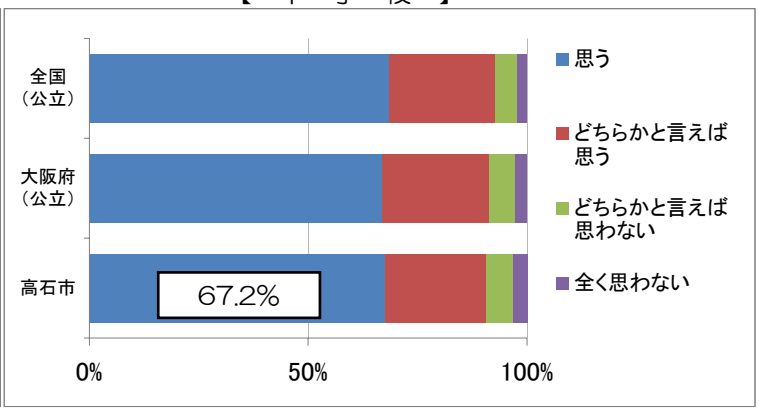


〔グラフ・15〕人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。

【　小　学　校　】



【　中　学　校　】

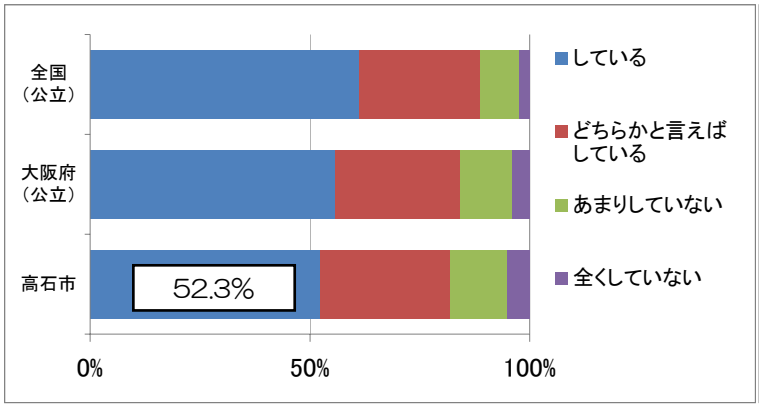


傾向Ⅳ－②：規範意識や、いじめに対する認識がやや全国・大阪府に比べて低い。

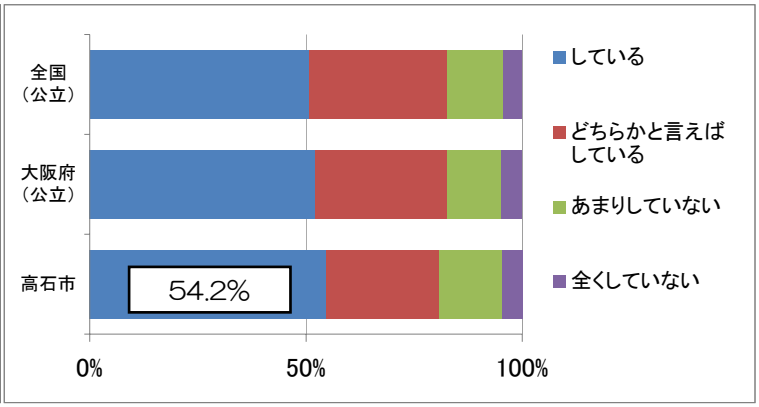
〔グラフ・16〕より、「近所の人に会ったとき、あいさつをしていますか」に対し、「している」と回答した子どもが、小学校で５２．３％に対して、中学校では５４．２％と小学校よりも上回っています。特に、中学校は大阪府を上回っています。また、〔グラフ・17，18〕より「学校の規則を守る」ことや、「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」等の規範意識に関する質問に対して、全国・大阪府よりもやや意識の低さと、中学校の無回答の多さが見られます。中でも、いじめに対する意識が、小学校で７～８％、中学校で５～６％程度、全国・大阪府より低いことがわかります。今後も「道徳の時間」の授業を中心に、心の教育を充実していくことが大切です。

〔グラフ・16〕近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。

【　小　学　校　】

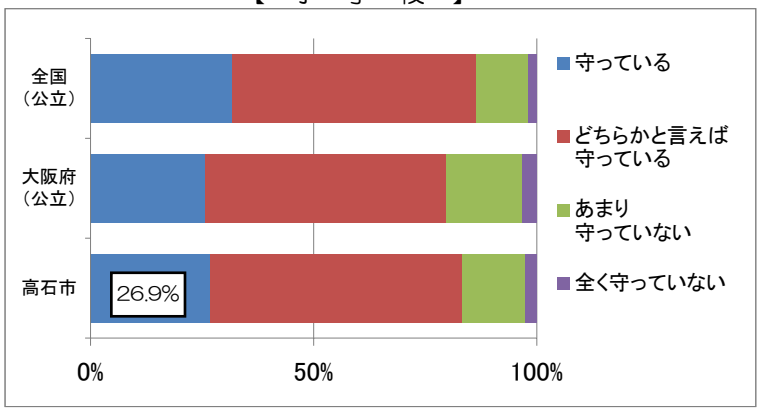


【　中　学　校　】

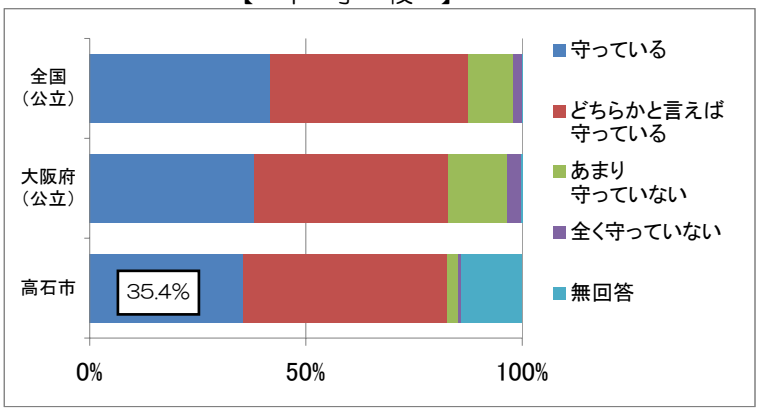


〔グラフ・17〕学校の規則を守っていますか。

【　小　学　校　】

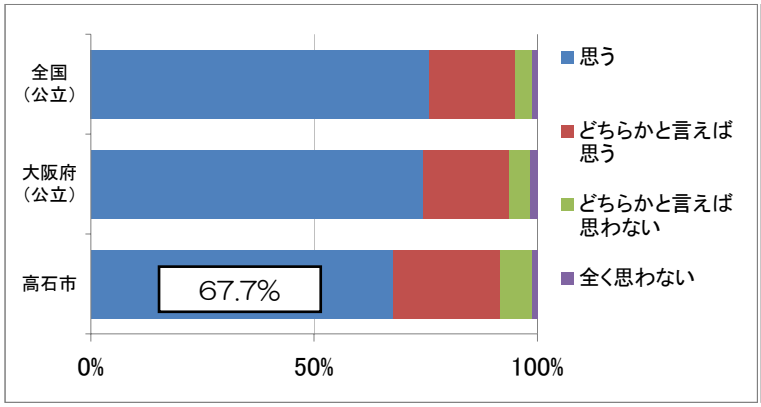


【　中　学　校　】

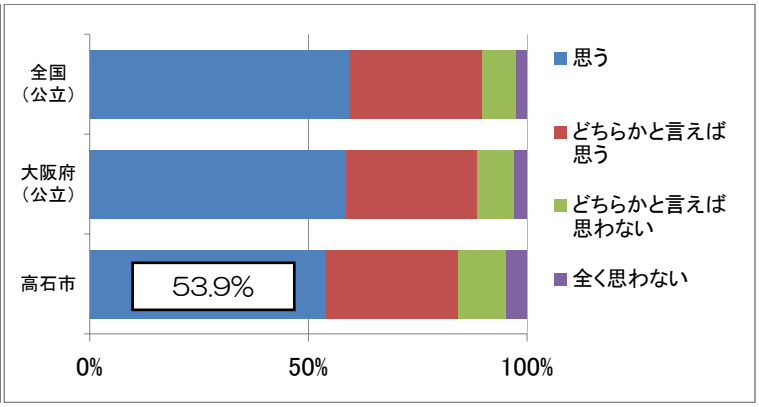


〔グラフ・18〕いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

【　小　学　校　】



【　中　学　校　】

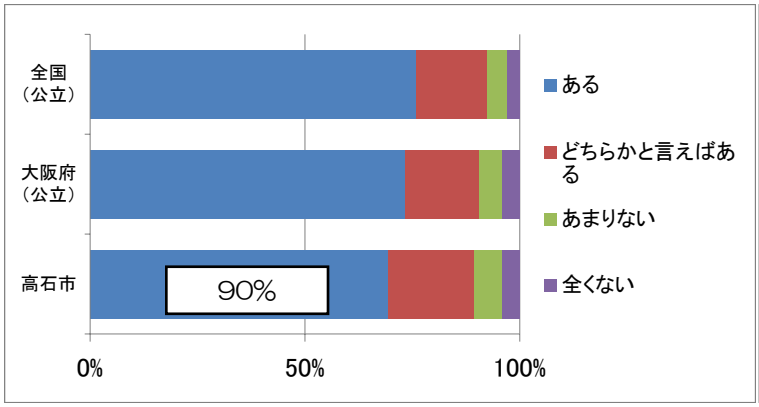


傾向Ｖ：学校で好きな授業がある子どもは多いが、授業で考えたり、発表する機会が少ないと思っている。

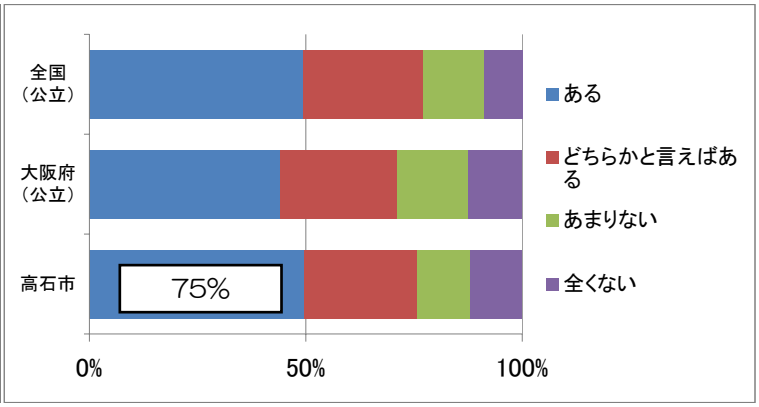
〔グラフ・19〕より、「学校で好きな授業がありますか」という回答で「好き」、「どちらかと言えば好き」の合計の割合が小学校で９０％に達しています。しかし、中学校では７５％に低下しています。このことから学習意欲を高める授業の工夫改善が望まれます。その改善点として、考える場面の設定や、自分の考えを話したり、書いたり、発表する機会のある授業を組み立てる必要が〔グラフ・20，21〕からもわかります。
　これは、調査結果からだけではなく、今年改訂された学習指導要領の改善事項の一つでもあり、全ての学習において言語活動を取り入れた授業を構成していくことが大きな課題になります。

〔グラフ・19〕学校で好きな授業はありますか。

【　小　学　校　】

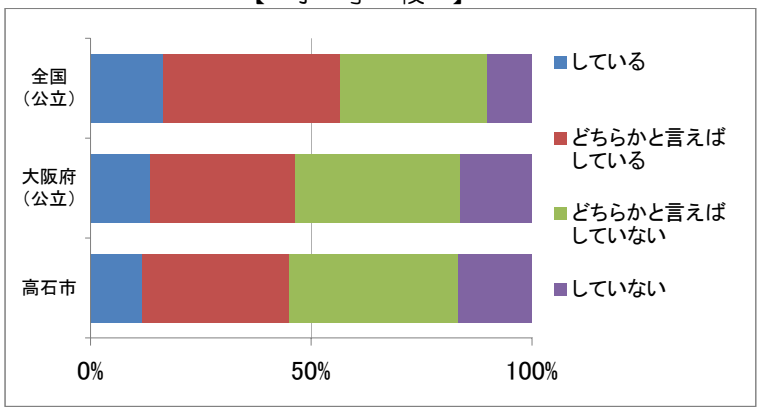


【　中　学　校　】

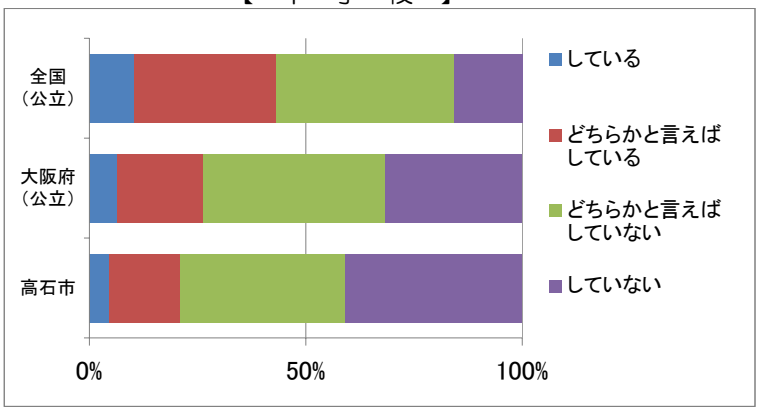


〔グラフ・20〕国語の授業で目的に応じて資料を選び、自分の考えを話したり書いたりしていますか。

【　小　学　校　】

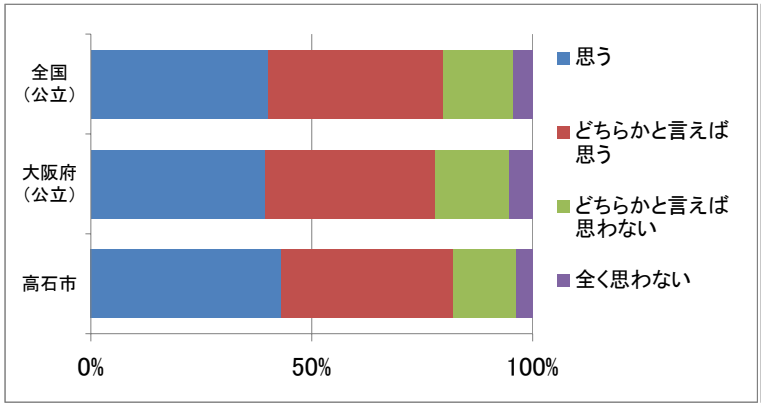


【　中　学　校　】

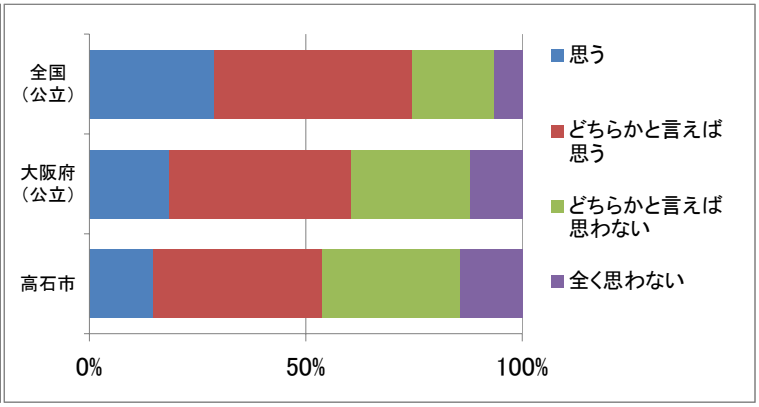


〔グラフ・21〕普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。

【　小　学　校　】



【　中　学　校　】



*その他：*質問紙調査による、本市の小・中学生のおもな特徴と内容項目

５つの項目以外について、質問紙からわかる小・中学校における、おもな特徴と課題の項目を一覧表にまとめています。
参考資料として掲載させていただきます。

番号	質問事項	小学校 全国（公立）		小学校 大阪府（公立）		中学校 全国（公立）		中学校 大阪府（公立）	
1	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか	▼	2.9%	○	2.7%	▽	1.3%	△	0.3%
2	難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか	▽	1.6%	▽	1.4%	△	1.0%	△	1.1%
3	将来の夢や目標を持っていますか	▽	0.9%	▽	0.3%	△	1.7%	○	2.2%
4	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・ＤＶＤを見たり、聞いたりしますか ※「4時間以上している」と回答した数値について	○	2.2%	▽	0.7%	▼	7.0%	▼	3.9%
5	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか ※「4時間以上している」と回答した数値について	○	2.7%	△	1.3%	▼	2.3%	▽	0.9%
6	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、インターネットをしますか ※「4時間以上している」と回答した数値について	▽	0.5%	▽	0.7%	▽	0.9%	▽	0.2%
7	携帯電話で通話やメールをしていますか	○	2.5%	▼	4.5%	▼	12.8%	▼	3.8%
8	家の人と普段（月～金曜日）、夕食を一緒に食べていますか	▼	4.4%	▽	0.3%	▼	2.5%	○	4.6%
9	家の手伝いをしていますか	▼	4.2%	▽	1.6%	△	0.6%	△	1.2%
10	家で食事をするときは、テレビを見ないようにしていますか	○	6.4%	△	1.5%	○	3.8%	△	0.2%
11	学校で友達に会うのは楽しいと思いますか	△	1.2%	△	0.9%	△	1.1%	△	1.3%
12	新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか	▼	5.4%	▽	1.6%	▽	0.9%	△	1.8%
13	海、山、湖、川などに行って、自然のすばらしさを感じたことがありますか	○	3.5%	△	0.4%	▽	0.8%	▽	0.1%
14	包丁やナイフを使って調理をしたことがありますか	▼	4.5%	▼	2.8%	▼	3.4%	▽	0.3%
15	テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか	△	0.7%	○	2.5%	▼	3.3%	▽	1.2%
16	新しく習った漢字を実際の生活で使おうとしていますか	▼	7.6%	▼	2.1%	▼	7.9%	▼	1.0%

上表の記号の見方	○…2%以上、上回っている場合	△…0～2%未満の範囲内で、上回っている場合
	▼…2%以上、下回っている場合	▽…0～2%未満の範囲内で、下回っている場合
上表の色分けについて	青枠 ☞本市の児童生徒の回答が、全国・大阪府よりも良い傾向を示してる場合	
	黄枠 ☞本市の児童生徒の回答が、全国・大阪府よりもあまり良くない傾向を示している場合	

上の表の質問番号４，５，６を除く項目については、いずれも「あてはまる」「している」「思う」と回答した数値を全国・大阪府と比較して示したものです。また質問番号４，５，６については、いずれも「４時間以上している」と回答した数値を比較して示しています。
上の表からは、小学校から中学校へ学年が上がるにつれて、「夢や希望をもつこと」や「達成感」という気持ちが上がり、発達段階に応じた成長が伺えますが、「学習面」では小学校でできていたテスト後の復習が、中学校になるとできにくくなってきています。その他、自然と接することでの感動が、学年が上がるにつれて薄らいできている傾向も表れています。
なお、４～７については「良い傾向である」か、「良くない傾向である」かを判別しにくいため、青枠・黄枠に色分けをしていません。

②　調査結果等からの今後の改善策について

今回の全国学力・学習状況調査の結果を分析・考察したことにより、取り組むべきいくつかの課題が明らかになりました。これらの課題を踏まえて、『生きる力』＝【知・徳・体】のバランスのとれた、人間性豊かな思いやりをもつ児童生徒の育成を目標に取り組んでいきたいと考えています。その目標を達成するには、学校―地域・家庭（保護者）―教育委員会が一体化が求められます。

このことから、高石市では教育委員会と学校が連携し合いながら、次のような内容で“高石市の未来を担う子どもたち”のために『生きる力』を育む取り組む改善に推進いたします。

☆教育委員会が中心となって取り組んでいくこと

高石市教育委員会では、学校と家庭（保護者）・地域が連携し、一体となって子どもたちの『生きる力』を育んでいくために、今後一層のサポートを展開していきます。

- 各学校が行う学力向上の取り組みを地域の皆さまに発信し、ご協力やご支援の円滑化を図ります
- 市の教育課題に応じた研修を行い、教職員の資質・指導力向上を図ります
- 「朝ごはん食べよう！キャンペーン」を実施し、食育の推進と奨励、家庭における基本的生活習慣の定着を推進します
- 放課後や、長期休業期間に実施する補充学習への学習支援員・ボランティアを募集し、派遣します
- 授業改善のための研究協力校を募集し、公開授業等による研究成果発表の充実を図ります
- 各学校での授業研究を中心とする校内研修の活性化と研究協議の充実を図ります

☆各学校が、現在取り組んでいる、また、今後取り組んでいくこと

- 指導内容・指導方法の工夫の推進

  ・習熟度別授業を取り入れた、少人数指導や複数教員による指導、等による、きめ細かな指導の充実
  ・基礎・基本の徹底と繰り返し学習
  ・体験や実験・観察などの活用場面を取り入れた授業の研究
  ・音読・話し合い・発表など子どもたちが授業の中で聞いたり、話したりする学びあいのある授業展開の工夫

- 子どもの学習のつまずきの把握とフォローに努めます

  ・長期休業期間（例えば、夏休み）中の学習会　放課後の補充学習会　等

- 読書活動の一層の推進と充実化
- 学習規律の徹底を図り、より一層の「落ち着いた授業」に取り組むことに努めます
- 一人ひとりが尊重される集団づくりの実現化

  ・人権教育の一層の推進

③　今後の改善策に対して、家庭（保護者）や、地域の皆さまにご協力・ご支援をお願いしたいこと

今回の調査結果の中からも、家庭学習の大切さや、「早寝、早起き、朝ごはん」等、基本的生活習慣が子どもの学習に密接な関係があることがわかってきました。是非この機会に、ご家庭での学習や読書に対して、わずかな時間でも子どもと一緒に取り組む等のご協力を、できる範囲でお願いします。また、学校教育活動におけるボランティア支援や子どもたちとの「あいさつ」などの声かけ等に、ご家庭（保護者）・地域の皆さまには、“高石市の未来を担う子どもたち”のためにより一層のご協力とご支援をお願いいたします。

《特に次の６点について、ご協力とご支援をお願いします！》

- 子どもの宿題の確認や、学校の予習や復習等の自主的な家庭学習に対する意識向上について
- ご家庭における読書の機会向上や子どもへの啓発について
- 学校のさまざまな学力向上等の取り組みについて
  （学校支援・図書ボランティアや、放課後学習活動のボランティア等へのご参加・ご協力）
- 「朝ごはん食べよう！キャンペーン」への積極的な連携について
- ＰＴＡ活動へのご参加とご協力について
- 各中学校区の「すこやかネット」の活動へのご参加とご協力について